

第235回 番組審議会

1. 日 時 平成26年9月16日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 11名(欠席委員数 0名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
木戸場 美代子
久慈 浩介
斎藤 純
菅原 正二
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者(7名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)
小原 忍(専務取締役)
前田 秀男(取締役技術局長)
藤原 銀司(取締役)
工藤 浩(取締役営業局長)
青田 優(岩手めんこいテレビ編成部専任部長)
寺沢 樹理(めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 (1) 岩手めんこいテレビ「放送基準」改正について

(2) 「FNSソフト工場 世にも奇妙な職業安定所」

平成26年6月13日(金) 19:00～19:55放送

5. 議事概要

今回は、会議の冒頭、日本民間放送連盟の放送基準が一部改正されたことを受け、岩手めんこいテレビの放送基準の一部改正を審議会に諮問した。一部改正の内容を説明後、「了承」との答申を受けた。

引き続き6月13日(金)放送の「FNSソフト工場 世にも奇妙な職業安定所」を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 青田プロデューサーからの説明

・「FNSソフト工場」は、フジテレビ系列の制作力向上と人材育成を図るシステムで、各社が共同出資し全国を4ブロックに分けてコンペティションを行い選考される。

・めんこいテレビは、この16年間で8作品を制作。1/2の確率で選出されている。

●めんこいエンタープライズ 寺沢ディレクターからの説明

・平日の夜7時に放送する、子供から年配の方まで家族で見られるバラエティとして企画した。紹介する職業は、認知度の低い珍しいものを探し「地底案内人」「アントハンター」「フラッシュモブ」「巡礼代行業」の4つを選んだ。

番組を見た視聴者には、「明日から何かを始めよう」とか、自分の仕事をもう一度見つめなおす気持ちを持ってほしいと思って制作した。

・出演頂いた方は、経済的には厳しくお金持ちはいなかった。しかし、皆、楽しんで仕事をしておりその表情は出せていたと思う。

・「職業安定所」という以上、給料や売上は外せない部分だったが、出演者から聞き出す事ができず不完全燃焼に終わってしまった感があった。

●出席した委員からの意見

- ・世の中には、いろいろな職業があることを知り驚いた。
- ・職業の選択も非常に良く、奇妙な職業の数々に発見があり飽きずに見ることができた。
- ・出演者のコメントが生き生きしており「やりたいことをやっている人は違うな」と感心した。
- ・岸先生、芸人さんのコメントも職業のユニークさを引き立てており、バラエティ番組としておもしろかった。
- ・「職業安定所」と謳っているが、安定した職業は一つも無く、生活が成り立つのか疑問に感じた。
- ・全体的に盛り上がりも感動もなく淡々と流れ、面白みを感じなかった。
- ・仕事として捕らえると、月収や年収は外せない。その部分をもっと踏み込んで欲しかった。
- ・せっかく就職活動中の学生がいるのだから、彼等の意見を聞きたかった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

日本民間放送連盟の放送基準が一部改正されたことに伴い、岩手めんこいテレビの放送基準の一部改正について審議会から「了承」との答申を得たことを受け、9月29日の常勤取締役会において岩手めんこいテレビの放送基準の一部改正を決定した。

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成26年9月17日（水） 産経新聞 東北版

※平成26年9月27日（土） 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ 番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし